2019　Follow up seminar



＊子供理解を深め、発達段階に応じた指導ができるようにする。

＊教員同士で評価しあい、振り返り、課題解決の方法を追求する。

〇研修の意義を深く理解できた。

＊互いに、各人の悩みを話し合う場があり、それぞれの体験談から切磋琢磨しあうことができる。また、研修会の運営方法も修得できた。

課題

〇自立して研修会を成功させること

＊３ブロックの研修会の確立が急務であること。

＊各人が自覚をもって、主体的にブロックのメンバーとして研修会を継続させること。

＊リーダーの存在が非常に大きいことを自覚し研鑽に励むこと。

〇政府雇用の教員を目指し、安定した収入が得られるようにすること。

受講生26名

講師等KCPマナンダール学長、ゴルガ先生、

ケシャップ先生、通訳クリシュナ、寮母マンジュ

　　　　　深田、新井場、今村ｍ、岩谷

　　　　　JOCV　5名（須崎、鈴木、田上、庄司、林）

2019.11.17-20

（１）英語（聞く、話す、読む、書く）（深田）

（２）２英語ゲーム（今村）

（３）ビールゲーム（今村）

（４）研修の意義（岩谷）

（５）ブロックセミナーの報告（パルパティ、カウシラ）

（６）パネルシアター（プジャ、ラクシミ、新井場）

（７）健康について（クリシュナ）

（８）JOCVの任務と役割（IOCV５人）

**Followup seminar 最終回を終えて**

成果

〇良い先生を目指すことができた。

そのためには以下のことが重要であることを認識した。

＊分かり易い授業ができるようにする。

＊教材研究を深め、教材・教具を創意工夫して、計画的に指導する。